

問題解決的な学習を 取り入れた指導の工夫

令和元年9月10日(火)
高知大学 森 有希

道徳科における深い学び

道徳性を養う学習

主体的な学び
問題意識を持ち、
自分との関わりで考える

対話的な学び
対話や議論などにより、
多面的・多角的に考える

道徳的価値に関わる自分の考え方、感じ方をより深めるための
多様な指導方法の工夫

例

- ◆ **読み物教材の登場人物への自我関与を中心とした学習**において、教材の登場人物の判断と心情を自分との関わりにおいて多面的・多角的に考えることを通し、道徳的価値の理解を深めること。
- ◆ **様々な道徳的諸価値に関わる問題や課題を主体的に解決する学習**において、児童生徒の考えの根拠を問う発問や、問題場面を自分に当てはめて考えてみることを促す発問などを通じて、問題場面における道徳的価値の意味を考えさせること。
- ◆ **道徳的行為に関する体験的な学習**において、疑似体験的な活動(役割演技など)を通して、実際の問題場面を実感を伴って理解することで、様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養うこと。

* 独立した指導の型ではなく、それぞれの要素を組み合わせた指導も可能

問題解決的な学習

【ねらい】

問題解決的な学習を通して、**道徳的な問題**を多面的・多角的に考え、児童生徒一人一人が生きる上で出会う様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養う。

【指導方法の効果】

- ・ **出会った道徳的な問題に対処しようとする資質・能力を養う**指導方法として有効。
- ・ **他者と対話や協働しつつ問題解決する中で、新たな価値や考えを発見・創造する可能性。**
- ・ **問題の解決を求める探究の先に新たな「問い」が生まれるという問題解決的なプロセスに価値。**

【指導上の留意点】

明確なテーマ設定のもと、

- ・ **多面的・多角的な思考を促す「問い」**が設定されているか。
- ・ **上記「問い」の設定を可能とする教材が選択**されているか。
- ・ **議論し、探求するプロセスが重視**されているか。

といった検討や準備がなければ、単なる「話し合い」の時間になりかねない。

(道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議(報告)平成28年7月22日)³

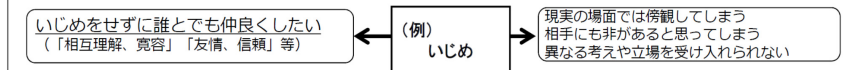
道徳的な問題場面には、

- ㊦ 道徳的諸価値が実現されていないことに起因する問題、
- ㊧ 道徳的諸価値についての理解が不十分又は誤解していることから生じる問題、
- ㊨ 道徳的諸価値のことは理解しているが、それを実現しようとする自分とそうでできない自分との葛藤から生じる問題、
- ㊩ 複数の道徳的価値の間の対立から生じる問題などがある

(中央教育審議会(答申)より抜粋 平成28年12月21日)

問題場面から考える学習の(例)

○ 道徳的価値のことは理解しているが、それを実現しようとする自分とできない自分との葛藤から生じる問題(例)



○ 複数の道徳的価値の間の対立から生じる問題(例)



(考える道徳への転換に向けたWG委員会 資料 平成28年8月16日)⁴

問題解決的な学習とは

道徳科における問題解決的な学習とは、ねらいとする道徳的諸価値について自己を見つめ、これからの生き方に生かしていくことを見通しながら、実現するための**問題を見付け**、どうしてそのような問題が生まれるのかを調べたり、他者の感じ方や考え方を確かめたりと物事を多面的・多角的に考えながら**課題解決に向けて話し合う**こと。

(小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編より)

道徳科における問題解決的な学習とは、生徒一人一人が生きる上で出会う様々な**道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力を養う**学習。

(中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編より)

5

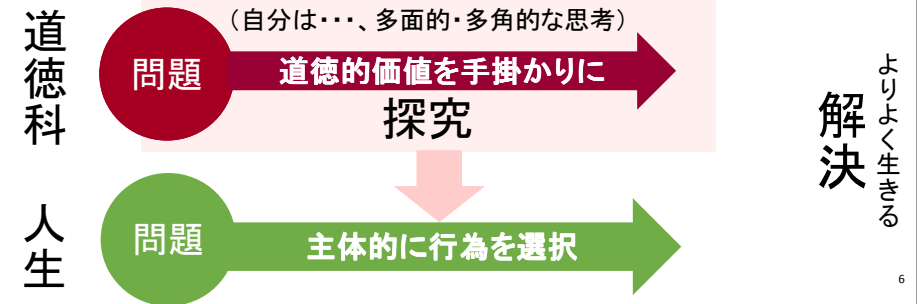
問題解決的な学習とは

要素

道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

- ①道徳科の目標を踏まえた学習活動となっている。
- ②学習主題として、道徳的な問題に着眼している。
- ③道徳的価値を手掛かりに問題の解決に向けて探究する活動がある。

<イメージ>



6

問題解決的な学習(例)

	活動例
導入	①問題の発見や道徳的価値の想起など
展開	②問題の 探究 (道徳的な問題状況の分析・解決策の構想など)
	③ 探究 のまとめ (解決策の選択や決定・諸価値の理解の深化・課題発見)
終末	④まとめ

7

問題解決的な学習(例)

①問題の発見や道徳的価値の想起など

	活動例	発問例
導入	・教材や日常生活から道徳的な問題を見つける。 (例) 自分の過ちに対してどう行動すればいいのだろうか。	* 自分にも・・・なことがありましたか。そのとき、どんなことを思いましたか。 * ここでは、何が問題になっていますか。 * 何と何で迷っていますか。
	・自分たちのこれまでの道徳的価値の捉え方を想起し、道徳的価値の本当の意味や意義への問いを持つ(原理・根拠・適用への問い)。 (例) 原理: 本当の思いやりとは何か。 根拠: 思いやりはなぜ大切か。 適用: 思いやりはどのようにすれば表せるか。	* ■■(道徳的価値)とはどういふことでしょうか。

8

問題解決的な学習(例)

②問題の探究(道徳的な問題状況の分析・解決策の構想など)

	活動例	発問例
展 開	・道徳的な問題について、グループなどで話し合い、なぜ問題となっているのか、問題をよりよく解決するためにはどのような行動をとればよいのかなどについて 多面的・多角的 に考え議論を深める。	*なぜ、それが問題になっているのですか。 *このようなとき、どうすればよいのでしょうか。 *あなただったらどうしますか。 *なぜ、そのようにするのでしよう。 *互いに質問し合ってみましょう。
	・グループでの話し合いなどを通して道徳的問題や道徳的価値について 多面的・多角的 に考え、議論を深める。	
	・道徳的な問題場面に対する解決策を構想し、 多面的・多角的 に検討する。	*よりよい解決方法にはどのようなものが考えられるでしょう。
	多面的・多角的な思考を促す問い	

多面的・多角的な思考を促す問い(例)

【比較の観点】

- ・考え方や行動の同じところは何か？
- ・考え方や行動の違うところは何か？
- ・違いは、なぜ生じたのか？
- ・違いは、それぞれ何を大切にしていることから生じたのか？

【立場の観点】

- ・相手の立場ならどう思うのか？
- ・〇〇の立場ではどう思うのか？
- ・それで自分もよいのか、相手もよいのか、周囲の人もよいのか？

【結果の観点】

- ・その解決策の結果はどうなるのか？

【動機の観点】

- ・何を大切に考えてそのような解決策をとるのか？

問題解決的な学習(例)

③探究のまとめ(解決策の選択や決定・諸価値の理解の深化・課題発見)

	活動例	発問例
展 開	・問題を解決する上で大切に した道徳的価値について、なぜそれを大切に したのかなどについて話し合い等を通じて考えを深める。	*なぜ、 ■■■ (道徳的諸価値)は大切なのでしょうか。
	・問題場面に対する自分なりの解決策を選択・決定する中で、実現したい 道徳的価値の意義や意味 への理解を深める。	*あなたは、この問題にどう答えますか。 * ■■■ (道徳的価値)とはどういうことでしょうか。 *どうすれば ■■■ (道徳的諸価値)が実現できるのでしょうか。 *例えば、～な場合、今日考えたことを踏まえてどのように解決しますか。
	・考えた解決策を 身近な問題に適用 し、自分の考えを再考する。	*今日の話合いをして新たに気付いた問題や、自分自身の課題はありますか。それは、どんなことですか。
	・問題の探究を振り返って、新たな問いや自分の課題を導き出す。	

問題解決的な学習(例)

④まとめ

	活動例	発問例
終 末	・教師による説話。	
	・本時を振り返り、本時で学習したことを今度どのように生かすことができるかを考える。	* 今日学んだことで、自分の生活の中に生かしていきたいと思ったことはどんなことですか。
	・道徳的諸価値に関する根本的な問いに対し、自分なりの考えをまとめる。	* ■■■ (道徳的諸価値)とは、どんなことだとあなたは思いますか。
	・感想を聞き合ったり、ワークシートへ記入したりして、学習で気付いたこと、学んだことを振り返る。	* 今日の学習を行って考えが変わったことや新たに気付いたことがありますか。それはどんなことですか。

事例 中学校 第1学年 「裏庭でのできごと」

【自主、自律、自由と責任】A-(1)

主題名 誠実な生き方

教材分析（問題解決的な学習の場合）例

①具体的な問題・出来事は？

▶ 本当のことを言って過ちを正そうとすれば、大輔との友達関係が悪くなるという葛藤のなかで、本当のことを言うかどうかという問題。

②その問題・出来事が起こった 道徳的な問題は？

▶ 正直と友情の葛藤の間で、自分の過ちに対してどう向き合うか、そこで考えなければならないことは何かについての迷いや悩み。

③その問題・出来事を 解決するために大切なことは？

▶ 何が正しいのかを自分で考えて判断し、行為に対する責任をもって自らの意志で行動を決定することの大切さを自覚する。

中心発問(例)

【①教材を分断提示して】
* 健二の悩みは、どうすれば解決するのか。
* 解決するために大切なことは何か。

指導の要点(ねらい)

【事例】

中学校第1学年「裏庭でのできごと」

【主題名】 誠実な生き方【自主、自律、自由と責任】A-(1)

【ねらい】

健二の悩みに対する解決策を話し合い、自分の過ちに向き合うために大切なことは何かを考えることを通して、正しいと思うことを自らの判断で実行し、行為の結果に責任をもとうとする意欲を育てる。

【ポイント】

役割演技を活用して問題の解決策を話し合う中で、誠実な行いについて多面的・多角的な視点で考え探究していくようにする。

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導入	1. 誠実に関して自身の経験を振り返る。(3分) ○正しいとわかっていながら言えなかったり、間違っていると知りながらついやってしまったことはありますか。	・出来事が言いにくい場合、その時の思いを尋ねる。
展開	2. 前半の教材を読んで話し合う。(25分) ○導入で感じた気持ちと同じ気持ちの場面はどこだろう。そこでは何が問題になっているのだろう。 <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> ○「そんなこと言ったって…」の後にどんな思いがあったのか。 ○健二の悩みに対する 解決策を三人で役割演技 してみよう。 ◆その健二の行動は、大輔にとっても、雄一にとってもよい解決策だと思うか。 ◆何を大切に思っているのか。 3. 教材の後半を読んで話し合う。(12分) ○健二を職員室に向かわせたものは何か。	・問題を整理する。 ・内面的な問題に焦点をあて、その思いを分類する。 ・座席でグループに分かれて演じる。 ・全体の場で代表が演じ、演技を通して思ったことを交流する。
終末	4. 今日の学習を振り返る。(10分) ○自分の過ちに向き合うとき、どのようなことを考えて行動すればよいと思いますか。今日の学習を通して思ったことを書き、発表しましょう。	・自分の生活も振り返って考えさせる。 ・他者の意見に対する感想も尋ねる。